

校長室だより

第9号

柏原市立堅下北中学校
校長 石田 智
令和5年12月1日（金）発行

○赤い羽根共同募金

11月15日（水）から17日（金）にかけて、本年度も柏原市社会福祉協議会からの依頼により「赤い羽根共同募金」を行いました。午前8時頃から保健委員会の生徒が下足室前に立ち、登校してくる人たちに向かって大きな声で募金を呼びかけました。初日から大勢の人が所定の袋にお金を入れて持って来てくれ、最終日は雨の中でしたが、募金をしてくれる人は絶えませんでした。そして3日間で合計14,463円が集まりました。集まったお金は身近で困っている人や、助けが必要な人たちへ支援などに役立てられます。ご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました。



○生徒会役員による高校訪問

生徒会役員の中では以前より、自分たちが今後進む高等学校や大学、企業などにおける校則やルール、マナーについて知り、先を見据えて自分たちが今守るべきことについて考えていきたいという思いがありました。そんな中、11月20日（月）に八尾翠翔高等学校にご協力いただき、新旧生徒会役員で学校訪問をさせていただきました。まず高校の生徒会役員の方々から校則の必要性についての説明があり、次に現在高校で取り組んでいる校則改定（体操服下校や校内でのスマホ使用）のことを教えていただきました。その後は中高で校則についての討論会になり、意見を活発に交流し、たくさん質問にも答えていただきました。予定の1時間を30分近く超えるほど、充実した訪問となりました。ご協力いただいた八尾翠翔高等学校の皆さん、本当にありがとうございました。

なお、12月22日（金）には金光八尾高等学校にも訪問させていただく予定になっています。

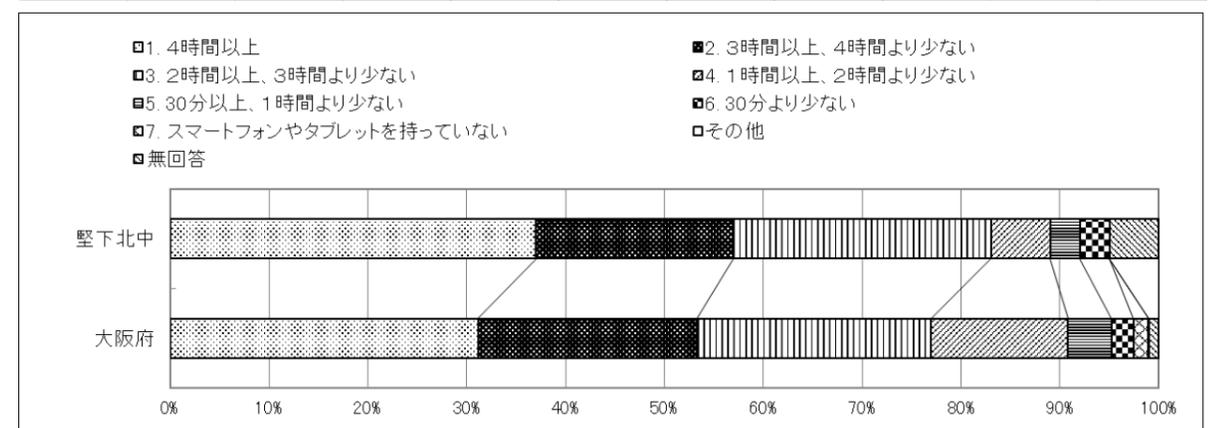


○中学生チャレンジテスト（3年生）のアンケートより

9月5日に実施された中学生チャレンジテスト（3年生）の結果が返ってきました。個人の結果については先日配付させていただいたところですが、平均正答率につきましては各教科ともに大阪府に比べてやや低い結果でした。同時に行われたアンケートについては、今回質問の内容が全面的に変わったので経年比較をすることはできませんが、授業におけるタブレット等の活用や、難しいことにも諦

めず取り組む意欲などは大阪府より高い値を示していました。ただ、学習以外でスマートフォンやタブレットの使用時間が長いことは依然として課題が見えました。下の表では、普段4時間以上の使用が37%、3時間以上で57%、2時間以上になると83%もの割合になっているとともに、府平均よりも長いことが見てとれます。これだけの長時間となると、家庭学習にける時間がどうしても短くなります。今一度、スマートフォンやタブレットの使用についてご家庭でお話していただけるようお願いいたします。

質問番号	質問事項									
問11	普段（月曜日から日曜日）、1日平均どれくらいの時間、学習以外（ゲームやSNSなど）にスマートフォンやタブレットを使っていますか。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
堅下北中	37.0	20.0	26.0	6.0	3.0	3.0	0.0	-	0.0	5.0
大阪府	31.2	22.1	23.7	13.9	4.4	2.3	1.5	-	0.0	1.0



○使い捨てカイロの回収

3年生は1年生の時からSDG'sについての学習を続けており、その中で「自分たちにできること project」の「行動編」として10月には校区の清掃に出かけました。そして11月下旬からは次の活動として使い捨てカイロの回収に取り組んでいます。これは資源のリサイクルというだけでなく、使い捨てカイロに含まれる鉄を利用し、水質改善に取り組むという活動になります。鉄はヘドロなどに含まれる硫化水素と結びつくと無害化するという性質があり、それを利用して水を再生させることです。現在、生徒たちの下足室前に回収ボックスを2カ所設けており、もうすでに結構な数のカイロが入れています。集まったカイロは、再生を請け負っている会社に生徒たちで送付することになっています。これからの寒い季節にはあらゆる場面で使い捨てカイロを使う機会があると思いますので、使用後は是非学校に持って来ていただき、回収にご協力いただければ幸いです。回収は3月まで行っていますので、ご協力よろしくお願いいたします。

